

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 水戸市立博物館協議会
- 2 開催日時 令和5年2月17日（金） 午前10時から12時まで
- 3 開催場所 水戸市立中央図書館 3階 視聴覚室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 桐原 幸一, 笹目 礼子, 川田 寛子, 河原 将子, 中庭 忠, 村山 朝子, 安嶋 隆, 小坪 のり子, 添田 仁, 玉川 里子, 塚原 正彦, 林 圭史, 藤 和博, 藤本 陽子, 土田 記代美
 - (2) 執行機関 小川 邦明, 鈴木 雅人, 平澤 尚子, 中村 有紀子, 藤井 達也, 坂本 京子
 - (3) その他
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 報告事項
 - ① 企画展「夏休み子どもミュージアム いのちのかたち 彫刻家・木内克のまなざし」の結果について（公開）
 - ② 特別展「昭和ラプソディ 一杯の珈琲を飲みながら」の結果について（公開）
 - ③ 令和4年度博物館事業の実施状況について（公開）
 - (2) 協議事項
 - ① 特別展「那珂川ヒストリー 一水と共に生きた人々」の開催について（公開）
 - ② 令和5年度博物館の主な事業計画（案）について
 - (3) その他
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称 令和4年度第2回水戸市立博物館協議会
- 9 発言の内容
(開会のあいさつ)

【委員長】

では、議事に入ります。初めに、報告事項として、企画展「夏休み子どもミュージアム いのちのかたち 彫刻家・木内克のまなざし」の結果について、それから、特別展「昭和ラプソディ

一杯の珈琲を飲みながら」の結果について、その後、令和4年度博物館事業の実施状況について、それぞれ事務局から報告をお願いします。

【執行機関】（資料説明）

【委員長】

まとめて何か御質問があればいただきたいと思います。

【__委員】

夏休み子どもミュージアムについて、裸婦像を得意にされている彫刻家の作品を、中学生、小学生、幼稚園児のような子どもに伝えるときに、どういう工夫をされたのかを教えてください。

【執行機関】

パネルでの解説に留まってしまいましたが、女性を捉えた作品を多く作ったということを説明して、それはなぜかという、女性の体というものが、何か性的な意味を感じさせる対象ではなくて、命の源として生命そのものを表す、それがにじみ出ている対象として女性を捉えて表現したということを、分かりやすく、難しい言葉をなるべく使わないようにして、小学生ぐらいに伝わるかと思える文章で説明をし、作品からにじみ出てくるエネルギーを感じてもらえるようにしました。

上映した映像ドキュメンタリーにもモデルの裸体が生々しく映っているのですが、その上映している作品のところに、女性の体はいやらしい対象ではなくて、命の源として表現されているものだということを伝えるパネルと一緒に掲示して見てもらうように努めました。

子どもの受け取り方はこちらの思い通りになったか分かりませんが、なぜ女性を捉えて作品を作るのかという、それはやっぱり命、人間は女の人の体から生まれてきて、おっぱいを飲んで、お母さんと一緒にお風呂に入ったりしながら、いろんなこととして育っていくという、そういう母なる存在というか、とにかく命というものを表現するための対象として女性像があるということ伝えるように心がけました。

【__委員】

私にも小さい子どもがいるのですが、どう説明しようかなというところもあります。親御さんが見て語りやすいような内容が、少し難しくてもいいので書いてあると嬉しいと思います。

【__委員】

比較的小さい子どもの目線で見られる作品が並んでいたのも、子どもはお母さんがいるみたいな感じで見るのができたと思います。親御さんが連れてきて、本当に力のある作品が並んでいましたから、子どもは何の抵抗もなくおそらく見たと思います。親御さんに来てもらうための何か手立てがもっとあれば、すごく子どもたちにとってはいい展示会になったなあと、この人数を見て惜しいなと思いました。

【__委員】

今お話しされたことを聞いて見たら、もっと理解が進むし、親としても説明しやすいと思うので、少人数でもいいから、例えば1点だけの作品でもいいから、子どもと親に説明するような機会が何回もあったらより良かったと思いました。たくさんの人に見てもらいたいし、分かってもらいたいという部分からすると、その辺に力を入れても良かったと思います。

大きな像を作るときの作り方も、ここで何をしているよ、ここは何をしているよ、そういう解説が子どもに分かるようにあったらもっと面白かったかなと思いました。

【__委員】

子どもをターゲットに、子どものクリエイティビティを伸ばすためにやる事業なのか、彫刻のほうを見てもらうのが中心なのか、そこがはっきりしなかったのではないのでしょうか。事業目的や展覧会の目標をちゃんと決めてやられたほうが良かったのではと思いました。

【__委員】

13 ページの自然観察会ですが、私の知り合いにあちこちの観察会に参加する方がいて、水戸市の観察会が終わるとその時の資料を私のところに届けてくれるんです。非常によく作られた資料で、すごく丁寧に作られています。できれば次年度に参加して少し学びたいと思っています。非常にいい観察会だという感想です。

【委員長】

今年も収蔵品の寄付がありましたが、収蔵品はどう保存されていますか。

【執行機関】

自然部門は、ロッカーの中にドイツ箱という箱に入れて、立体的に積んでいます。ロッカーひとつで40箱入ります。今回寄贈を受けたのはだいたい20箱ですので、その中で収まりがついた感じでした。天井までは伸ばす余裕があります。

【委員長】

感想にもありましたが、博物館の独立とかもっと施設を良くしてほしいという希望がずっと前から続いているんですね。水戸市民会館の工事が終われば少しは水戸市もゆとりができると思うので、ぜひ事務局には博物館の施設の増設、修繕、収蔵品の保存等を頭に置いて、目指していただきたいと思います。

【__委員】

博物館に勤める者として、限られた容量の中で、収蔵品もたくさん集められ、かつ展示も年に2回特別展、夏には企画展と、それから常設展も年に1回必ず展示替えをしているということで、非常に我々としても刺激も受けますし、切磋琢磨していければと思っています。

例えば、郡司家の資料等、非常にいい資料があります。ただ収蔵場所が非常に限られてしまっており、保存状態がなかなか全部いい状態で保てないというところがあります。一方で、そういういい資料が入っていればそれを展覧会の形でお示しすることが非常に大事かなと。

人もある程度増やして、設備もということになると財政状況の面からみれば大変なところはあるとは思いますが、そういう状況も広く市民の方にも知っていただいて、改善の方向に向かえばいいのかなと思います。どうしても目に見える部分だけしか分からないというのはありますから、いいところも悪いところもあると思いますが、その点も含めて広報に努めていただければと思います。

【委員長】

では、そういう御要望がありましたので、よろしくお願いします。

他にございますか。無ければ、協議事項のほうに移ります。

【執行機関】（資料説明）

【委員長】

それでは、協議事項の(1)については、この後展示を見ながら質問をとということですので、協議事項の(2)を中心に何か御質問ございますか。

【___委員】

前の協議会で皆さんがおっしゃっていた、展示ケースの修繕や博物館自体が古いこと、学芸員さんを増やしてほしいとか、議員の立場として議会のほうで投げかけは一生懸命しましたが、なかなかすぐに動くことではないですが、引き続き皆さんの思いをしっかりと市にぶつけていく役割は頑張りたいと思います。

【___委員】

歴史部門が今回も来年も冬季になるということですが、中学生や高校生の来館を増やす、彼らの学びを増やすという点でいうと、もし秋にあれば、それが年度の初めに分かっていたら、先生たちは例えば総合的な学習とかに組み入れてできると思います。今回の「那珂川ヒストリー」の図録を事前に見せてもらいましたが、非常に充実していて、これは社会科の学習でも使えるけれども、総合的な学習、高校でも総合的な探求の時間でいろいろな分野から那珂川というものを捉えるものとして非常に素晴らしいと思いました。ただこの時期に開催ですと、実質的に年度の終わりなので、そういう学習に生かせないというのがもったいないなと思いました。中学生や高校生の学びに資する社会教育として、学校教育と連携というのを推進していくのであれば、開催時期も含めてご検討いただくとより効果的かなと思いました。

【___委員】

学芸員がひとりしかいないので、時間がかかるんですね。複数になれば、ローテーションが

楽になってくると思うのですが、1回冬となると次に1年空くまでできない感じです。どの部門でもそうですが、やっぱり準備期間がどうしても必要だから。

【__委員】

1年でやっているというのはすごく頭が下がります。子どもからお年寄りまで幅広くというところで、どういうローテーション組むかという努力はされていると思いますが、例えばかつては4部門でチームを組んでやっていたことも1回ぐらいあったと思います。本来はあと1人ずつ、4×2で8人ぐらいいれば、一番いいのかな。なかなか理想と現実は難しいとは思いますが。

美術は確かにとっつきにくい部分があるかもしれませんが、いろいろな形で広い世代の方に分かっていたかどうかということも大事かなと思いますので、ぜひ頑張ってくださいと思います。

【__委員】

展示のサイクルについてですが、過去に好評だったものをもう一度やることはあまり考えられないことなのではないでしょうか。もう一度見たいとか見逃したから見てみたいという声も周りで聞きますし、コロナが流行っていて会期が途中で終わってしまったものをもう一度やる等は難しいのでしょうか。そういうことができたらいいなと思います。

【副委員長】

学校との連携という、ピンポイントで先生方に訴えるという方法もあるのかなと。総合的な学習等、学習の中に組み込んでいただければ最高だろうとは思いますが、開催時期との関係では難しいのかなと思いました。

気になったのは、4ページに、アンケートで「博物館に来たことはありますか」で「あることは知っていたが来たことはなかった」「あることを知らなかった」と半分近い人が答えていたり、もう一つの展示でも、8ページになりますが、同じような人数の方が「あることは知っていたけど来たことはなかった」というのですが、こういう方は何で来てるのか。その前に「展覧会を知ったのは？」という項目がありますが、その辺りと分析的に見たときに、そういう人にはどういった方法を取れば伝わるのかというのが知りたいと思ったのですが、その辺りは把握されているのでしょうか。そういう人に効果的な方法で広報ができるといいのかなと思いました。今後の集客につなげていただければということで。

【__委員】

学校現場では、県立歴史館も市博もいろんな素晴らしい展示をしても、それが先生方にどうしても伝わらない。チラシは届きますが、それがすごくいいものだ、子どもたちのためにもなるというのが伝わってないというのを感じています。

PRのひとつとして、先生方に直接伝えるのが一番効果的ではないかと思っているのですが、校長会の協議会が定期的に行われているんですけど、そこには宣伝をしたい人たちが来ているんです。学校に知っていただいて学習に効果的に使っていただくには、そういうところに出て行ってPRするのは一番いい方法だと思うので、ぜひ検討されるといいかと思います。そういうところでPRしていただくと、学校に戻って行って先生方にも宣伝にもなりますし、それを見て担

任の先生方もこの学習の時に市博でこれを見せたらより深く学べるなということが出来ますので、ぜひ学校としてもお願いしたいと思います。

【執行機関】

例年、社会科部会とか理科部会とか専門の先生が集まる時にはお邪魔させていただいて、お話をさせていただいております。ただ、コロナになってから、流れてしまったり、あるいは久しぶりに部会の先生がお会いになるのでそういう時間が取れないということで、体験講座もパンフレットを先生にお渡しして取っていただくようにするのが精一杯でした。これからコロナが落ち着けば、また宣伝に行かせていただきたいと思いますと思っています。

【___委員】

教育普及事業とか学校の連携、体験講座というところで、いわゆる物を触るという体験について、このコロナ禍、少々時間が経ってきて、再開状況や、数年前からちょっと今変わってきたようなところや、対策等も含めて、何か気を付けているところや工夫されているところがあれば、教えていただきたいと思います。

【執行機関】

コロナ対策ということで全館的な話にはなりますが、基本的には触れるものは少なくやっておりますが、どうしてもむかしの暮らし体験講座は物を触りますし、手すりやエレベーターのスイッチも触りますので、なるべく人の手に触れるものについて消毒はまめにやるようにはしています。体験講座に来る子どもたちにも消毒を心がけてやっている感じです。実際に来館される方々もコロナをまだ気にされている方が多く、マスクや消毒は特にこちらから申し上げるまでもなく積極的にやってくれているものですから、両方で気を付けながらやっている状況です。

【___委員】

ありがとうございます。

【執行機関】

2～3年前、もっと前ですか、学習指導要領が大きく変わりました、今までは博物館に来て話をしようとか体験をしようという項目があったのですがなくなって、災害時に助けてくれる警察官や消防署の方のお話を聞こうという項目になってしまいました。小学校3年生は、水戸市の北消防署と県警に行くようになったと思います。うちのほうの体験は随分激減しました。しかし、このコロナで消防署が忙しくて、北消防署に行くところをうちに若干流れてきているというのが、少し増えているということだと思います。これからコロナが収束すれば、また北消防署に戻るかもしれません。千葉県の特別支援学校から貸し出しのオファーが来たりと、ちょっと風向きが変わってきたのかなとは思いますが、何とかうちのほうも増やしていきたいとは考えております。

【委員長】

大変いろいろな御意見が出たので大変だと思いますが、ぜひ参考にしていただきたいと思えます。事務局のほうにお返しします。

【執行機関】

以上を持ちまして、令和4年度第2回水戸市博物館協議会は終了といたします。